
一致団結して会員5万人達成へ

～市町村老人クラブ連合会役員等研修会を開催しました～

全国の老人クラブに共通する課題であるクラブ数・会員数の減少問題は、全国各地でさまざまな会員加入促進の策が講じられ、一部では成果が認められるものの、全体的には歯止めがかからないのが現状です。こうした状況の打開策を求める声が高まるなか、全国老人クラブ連合会では、新たな会員増強運動を全老連政策委員会において検討、会合を重ねた結果、「老人クラブ



『100万人会員増強運動』とする平成26年度から5年間の運動方針（5年間で100万人の会員を増やす）がまとめられました。

これを受け、本県における取り組みと推進体制の整備、各市町村老連との意思統一を図ろうと、去る1月9日（木）徳島市のザ・グランドパレスにおいて、「市町村老人クラブ連合会役員等」を開催、県下全市町村から役員等75名が参加しました。

はじめに伊丹県老連会長から、はじめての試みであったにもかかわらず、全市町村からの多くの参加を得たことへの謝辞を述べ、一致団結して目標を達成できるようにしたいとの抱負が述べられました。

続いて事務局から、本県における取り組みを説明、本県では特に活動の基本となる単位クラブの活性化（基盤強化）を図りながら、5年間で5万人の会員を達成することを目的とする「老人クラブ会員増強運動」及び「新）単位クラブ活性化推進運動」を平成26年度から展開していくことが示されました。

「老人クラブ会員増強運動～広げよう！5万人の和～」では、これまで毎年9月から3ヶ月間、集中的に取り組んだ「加入促進強化月間」を見直し、年間を通じた取り組みとすること、また目標値としては1単位クラブあたり1年間に2名の純増（増員数－減少数）により、5年間で5万人を達成することを明記しました。

「新）単位クラブ活性化推進運動」では、昨年度提唱した「単位クラブ活性化推進運動」を発展的に見直し、成功事例等に学びながら魅力あるクラブづくりに努め、各市町村においては単位クラブを支援する取り組み（解散防止や相談機能、クラブ間の交流等）を機能させることで、活性化を図ることとしました。

研修会の中盤には、飯泉徳島県知事が来場、昨年度の徳島県における大きな動きや成



果とあわせて、本会の会員増強運動に対する励ましのメッセージをいただきました。

最後に、本運動の目的を達成するためには、老人クラブがこれからの地域づくりに欠かせない存在であることを共通の理解としてもち、各市町村老連の足並みを揃えることが大切であるとし、協力をお願いして研修会を終了しました。

午後からは、なかなか交流する機会のない各市町村老連の役員等に、親睦を深めてもらおうと「新年互礼会」を実施、岩佐県老連副会長による乾杯の発声に始まった会は、会話も弾み、途中からはカラオケも披露されるなど大いに盛り上がりました。最後に市町村老連の会長の中でも、最高齢である枅富牟岐町老連会長が万歳三唱を行い、好評のうちに新年互礼会を終了しました。

